

図2 プレイ種別による利用レートの違い

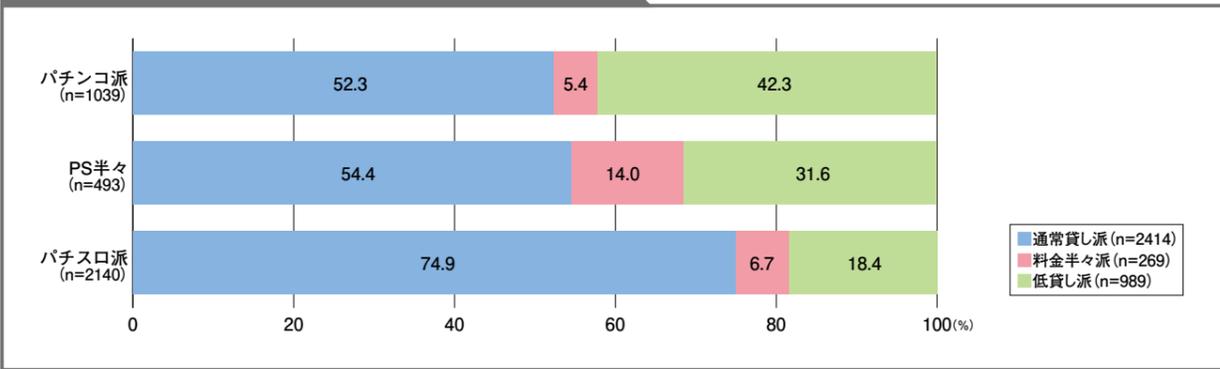


図3 遊技の目的 (複数回答)

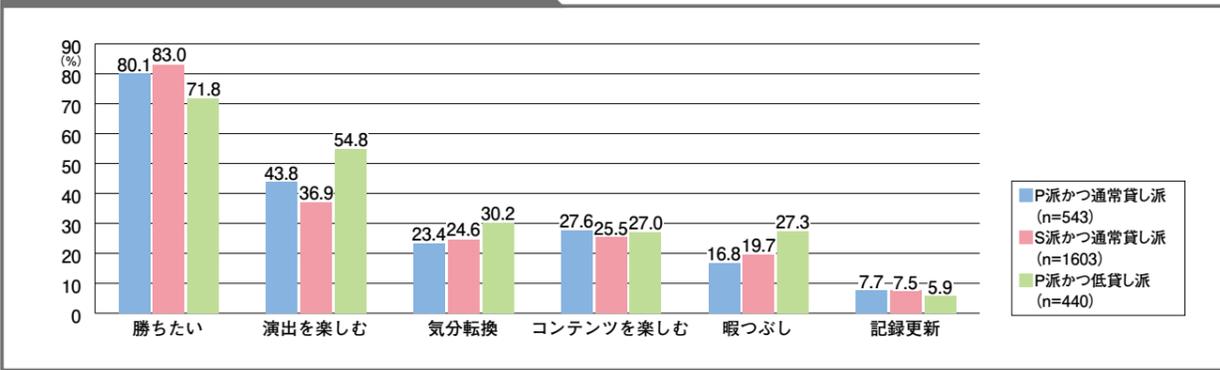


図4 よく打つ遊技機のスペック

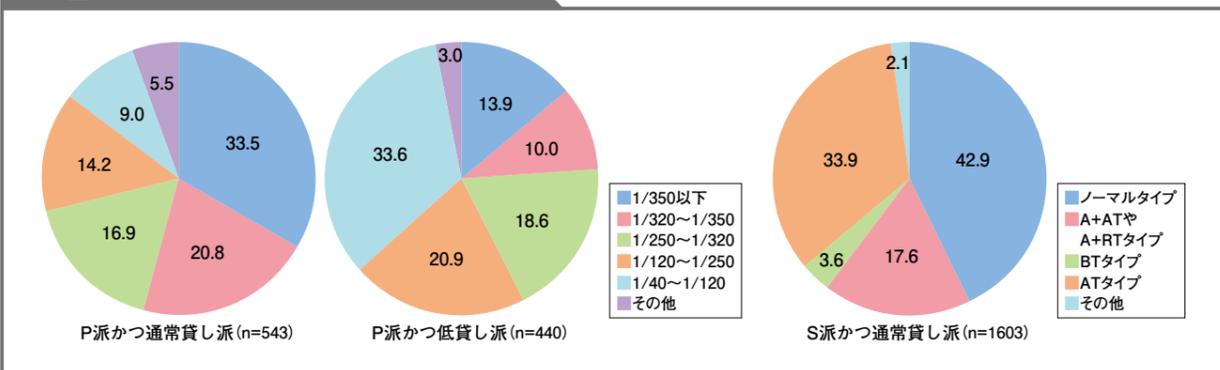
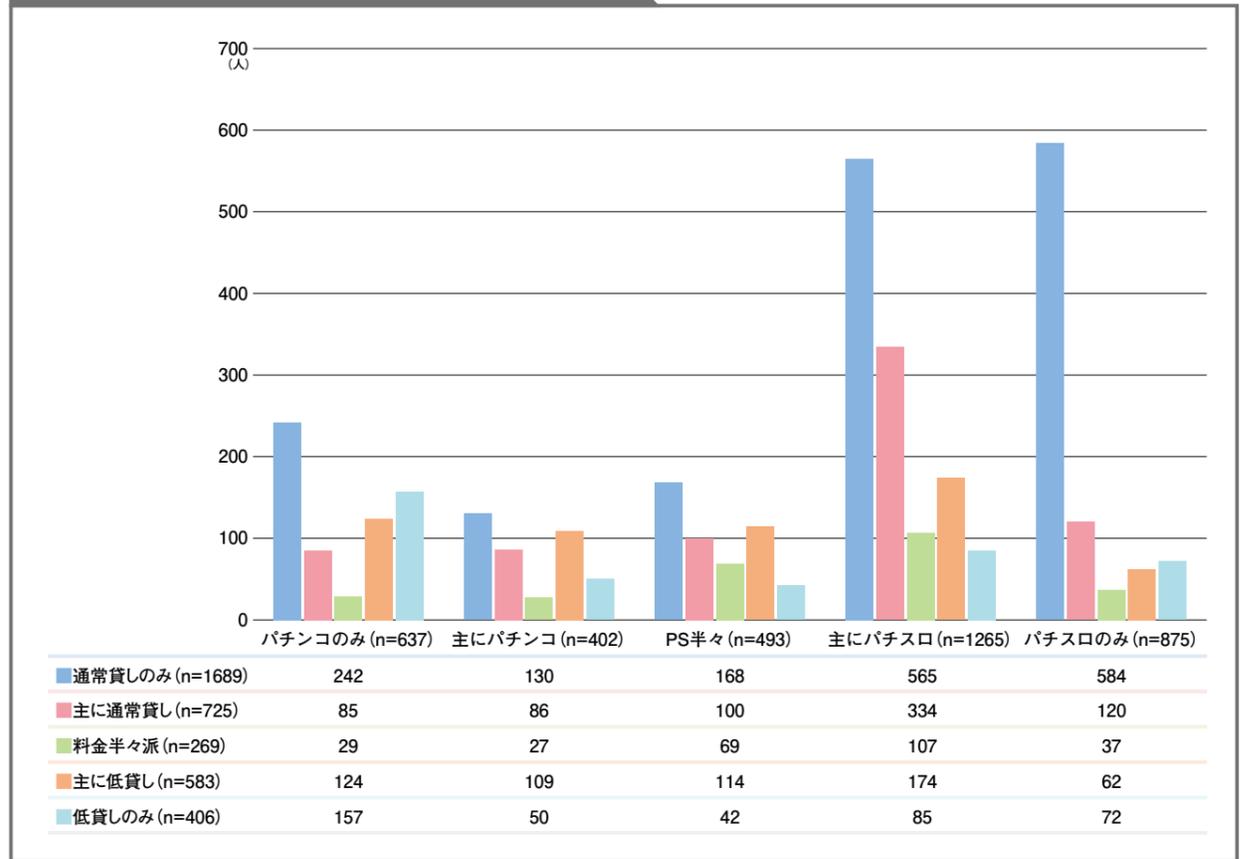


図1 よく遊技する遊技機の種別とレート



本誌は2025年12月、パチンコ・パチスロ総合情報アプリ「DM Mぱちタウン」を利用する遊技ファンに向けて、遊技動向を尋ねるアンケートを実施した。全回答者の中から、直近1年以内に遊技した人を抽出。有効回答数は3672だった。

本誌26年2月号では「よくプレイする遊技機の種別」によって、ファンを以下の三つの派に分類した。一つ目は「パチンコ派」。パチンコだけを遊技する人と、主にパチンコを遊技する人を指す。二つ目は「PS半々派」。それぞれを同程度に遊技する人だ。三つ目は「パチスロ派」。パチスロだけを遊技する人と、主にパチスロを遊技する人を指す。

今号ではこれに加えて、「よくプレイする遊技料金」という軸でも切り分ける。一つ目の派は「通常貸し派」。通常貸しだけで遊技する人と、主に通常貸しで遊技する人を指す。二つ目は「料金半々派」。それぞれを同程度に遊技する人だ。三つ目が「低貸し派」。低貸しだけで遊技する人と、主に低貸しで遊技する人を指す。

これらの軸で分類して、4円パチンコファンがほかのファンと、どのような違いがあるのかを見る。本稿では代表的なファン集団から得た回答を分析しているが、全国の縮図でないことを心に留めてほしい。

4 FANの動向

図1は回答者像を視覚化するため、よくプレイする遊技機の種別と利用するレートで分類したグラフと表だ。回答者の多くがパチスロファンであることが、一目で分かる。しかしこのままでは項目が多すぎて煩雑。図2以降では先述した派ごとにまとめて、数値を割合で示す。

図2はパチンコ派やパチスロ派の中で、通常貸し派や低貸し派がどの程度を占めているかを表している。パチスロ派では通常貸し派の多さが目立つ一方、パチンコ派では通常貸し派と低貸し派の差が10ポイントしかない。パチンコでは低貸し運用機がパチスロより多いとはいえ、4円パチンコファンの少なさが目立つ。

大まかな回答者像を確認したところで、4円パチンコファンである「パチンコ派かつ通常貸し派」に焦点を当てていく。図3以降では、対比するファン層として20円パチスロファンである「パチスロ派かつ通常貸し派」と、1円パチンコファンである「パチンコ派かつ低貸し派」を抽出。その違いを見る。

図3は、遊技動向に強く当てはまるものを複数回答で選んでもらったグラフだ。どの派でも圧倒的に「勝ちたい」と回答したファンが多い。一見当たり前のようだが、裏を返すと「勝ちたい」

と思っていないファンが、どの派にも20%前後いることを示している。

図4は、各派がよく打つ遊技機のタイプだ。4円パチンコ派では、大当たり確率(または図柄揃い確率)が重いスペックほど人気。1円パチンコ派はその逆で、同確率が軽い遊技機が支持されている。20円パチスロ派では、ノーマルタイプが最大勢力。ATタイプのファン数を優に上回る。

想定するファン像と異なる部分もあるだろう。これだけキツイと言われる4円パチンコで、勝つことを目的としない20%のファンはどのような存在か。彼らを分析した。よく打つスペックはLT機30%、スマパチ21%、ミドル20%、ライト10%。遊技予算は60%超が5万円程度。遊技頻度は70%超が週1以上。一般的な分布だ。

思い浮かぶことは、熱心なコンテンツファンが演出やコンテンツ目的で4円に座るシーン。新規IP機は新たな客層をホールに呼び込む。RUSH性能を備えた4円で運用されるIP目的のファンは選り好み。選り好みは遅かれ早かれ、耐久性が低い。彼らに遊び方を傍にいれば安心だ。

続きはデジタルブックで  
ご覧いただけます。

詳細はこちら▶